

令和 2年度

事務事業評価表 (令和元年度 の実績評価)

記入年月日
令和 2 年 4 月 1 日

事務事業名		国営造成施設管理体制整備促進事業支援事業				事業区分		担当	
						新規/継続	継続	事務事業No.	040102000848
						単独/補助	補助	所属課	050101
政策体系	総合計画の施策名	0401 農林業の振興						課長名	農林課
	政策名	04 活力ある産業のまちづくり						グループ	農林G
	施策名	01 農林業の振興						担当者名	
	手段名	02 ②農業の効率化推進							
財務会計上の位置付け						事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計		
	01	06	01	05	05	00	単年度繰返し (平成15年度~)		
法令根拠						☞ 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入			
土地改良法・国営造成施設管理体制整備促進事業実施要綱									

(Do) 1. 事務事業の現状把握 (その1)

手段	(1) 事務事業の概要	
	①事務事業の概要(事務事業の全体像) ・農業用水利施設の多面的機能発揮及び管理適正化を支援するため、国営造成施設等を維持管理する土地改良区が体制整備促進事業に要する経費対し、予算の範囲内において土地改良区へ補助金を交付する事業。	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順 ①補助金申請・交付業務 ②遂行状況報告審査(桜川市土地改良区報告書審査) ③実績報告(桜川市土地改良区報告書審査・県担当課検査受検) ④伝票等作成

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	30年度	01年度	02年度	03年度	04年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
・県や土地改良区との連絡調整及び補助事業の実施主体としての補助申請業務。平成26年度より対象様式をExcelファイルにて一括管理することとした。	補助金交付	回	1.00	1.00	1.00	1.00	0.00
	遂行状況の報告	回	3.00	3.00	3.00	3.00	0.00
	実績報告	回	1.00	1.00	1.00	1.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	30年度	01年度	02年度	03年度	04年度
国営造成施設管理体制整備促進事業を行う桜川市土地改良区	桜川市土地改良区組合員数	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	30年度	01年度	02年度	03年度	04年度
農業用水利施設の多面的機能の発揮及び管理の適正化を支援する。	補助金交付額	千円	10,500.00	10,500.00	10,500.00	10,500.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量(事業費)の推移

投入量	事業費	財源内訳		30年度	01年度	02年度	期間限定 総投入量	
				(実績)	(実績)	(計画)		
			国庫支出金	千円	5,250	5,250	5,250	0
			県支出金	千円	2,100	2,100	2,100	0
			地方債	千円	0	0	0	0
			使用料・手数料	千円	0	0	0	0
			その他	千円	0	0	0	0
			一般財源	千円	3,150	3,150	3,150	0
			事業費計(A)	千円	10,500	10,500	10,500	0
			正規職員従事人数	人	1.00人	1.00人	1.00人	

事業費の内訳	01年度事業費 実績(千円)			02年度事業費 予算(千円)		
	19 負担金補助及び交付金	10,500				
	合計	10,500			合計	10,500

事務事業名	国営造成施設管理体制整備促進事業支援事業	事務事業No.	40102000848	所属課	農林課
(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？					
平成17年度より事業が開始され、農業基盤整備を通して、農業用施設の多面的機能の発揮及び管理の適正化を図っている。4区の土地改良区が合併し、対象地域が拡大したことにより平成26年度は補助金が増額された。平成30年度予算要求時、改良区担当より電気料金のみを主としたものにしたこととで10,500,000円での要望となった。					
(5) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？					
本事業では、対象機場の電気料等を計上することができるため、電気料高騰もあり一定の感謝の声がある。					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目	
現状維持	① 政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 農業基盤の整備・農業経営の安定化が図れている。
有効性	② 公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称)
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 土地改良事業については公共性が高いため妥当である。
有効性	③ 成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない 市の負担すべき補助金額は茨城県知事が決定した額に左右されるため。
	④ 廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？)
有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有 土地改良関係の各種事業を効果的に実施することが困難になる。
	⑤ 類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) <input type="checkbox"/> 具体的な手段、事務事業名
効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 農業水利施設に対しこの事業と同率程度(事業費のうち50%を国、20%を県)の類似事業はない。
	⑥ 事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？)
公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 事業を効果的に実施することが困難になる。
	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？)
公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 受益者負担の適正が図られている。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																			
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇒	事務の円滑化に努める。																			
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																			
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う → (複数回答可) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持		<input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																			
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th rowspan="2">向上 維持 低下</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>		成果	向上 維持 低下	コスト			削減	維持	増加				○	×			×	×	×
成果	向上 維持 低下	コスト																			
		削減	維持	増加																	
			○	×																	
		×	×	×																	
		(6) 事務事業優先度評価結果																			
		成果優先度評価結果	⑦																		

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価		(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)	
課長確認後の評価		確認欄	
<input checked="" type="checkbox"/> A	A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	<input type="checkbox"/>	